

「後志利別川水系河川整備計画」策定に向けて 第1回 後志利別川整備計画検討委員会を開く

平成9年の河川法改正に伴い、「後志利別川水系河川整備基本方針」が平成18年2月に策定されました。この基本方針に沿って、河川整備を具体的に進めるための「後志利別川水系河川整備計画」の策定にあたり後志利別川整備計画検討委員会の初会合が10月3日、今金町民センターで開かれました。

この日は学識経験者を中心とした18名の委員のうち13名が出席。正式に委員会を設立して委員長に北大大学院の黒木幹男助教授を選出し、審議が進められました。始めに、基本方針の説明があり、その後、流域懇談会での意見が反映してまとめられた河川整備計画（原案）について事務局から説明がありました。引き続き各委員による審議が行われました。



黒木 幹男 委員長

後志利別川整備計画検討委員会とは？

平成9年の河川法改正により、従来の「工事実施基本計画」に代わって、長期的な河川整備の基本となるべき方針を示す「河川整備基本方針」と、当面の具体的な河川整備の内容を示す「河川整備計画」を策定することになりました。

基本方針は社会資本整備審議会河川分科会の審議を経て、平成18年2月に策定されました。これに基づき、北海道開発局は河川整備計画の策定にあたり、学識経験者等からの

意見を反映させていくために後志利別川整備計画検討委員会を設けることにしました。

第1回検討委員会の審議から ～河川整備と維持管理の原案について意見～

第1回検討委員会で事務局から後志利別川水系河川整備計画（原案）は、「後志利別川の河川整備は、流域及び水系一貫の視点を持ち、北海道や関係町の施策と整合を図り、

後志利別川整備計画検討委員会名簿

氏名	所属・役職
秋元壽	NPO法人「後志利別川清流保護の会」理事長
阿刀田光紹	社団法人 北海道栽培漁業振興公社 技術顧問
井上京	北海道大学大学院農学研究院 助教授
内田尊之	北部檜山建設を考える会
大口義孝	釣りクラブ一平会
黒木幹男	北海道大学大学院工学研究科 助教授
斎藤誠	ひやま漁業協同組合 代表理事副組合長
佐藤理夫	市立函館博物館 学芸係長
鈴木幹男	狩場利別土地改良区 理事長
外崎秀人	今金町長
高橋貞光	せたな町長
竹内正夫	瀬棚郡内水面漁業協同組合長
千葉美辰	北海道森林管理局 渡島森林管理署長
辻井達一	財団法人 北海道環境財団 理事長
寺崎康史	今金町教育委員会 学芸員
棟方明陽	元北海道教育大学函館分校 教授
森勝典	元今金森林組合 参事
渡辺勝博	今金小学校 校長

(敬称略 五十音順)

河川整備の計画制度

河川整備基本方針

[内容]
基本方針、基本高水
計画高水流量 等
(平成18年2月策定)

河川整備計画

[内容] 河川工事、河川の維持の内容 等



河川工事・河川の維持



第1回 後志利別川整備計画検討委員会

市街地の発展や農地の利用状況、豊かな自然環境等を踏まえ、総合的、効果的に推進することを基本的な考え方とするとの説明がされました。

これに沿って河川整備と維持管理をどのように進めていくか、詳しい説明があり、各委員から質問や意見が出されました。

主な意見、質問は次の通りです。

- ◆原案の河川整備計画の対象区間の真駒内川上流端の地先住所を確認願いたい。
- ◆水質はBODについては、環境基準を満足しているが、他の項目もあると思うので説明願いたい。
- ◆洪水時のダムからの放流に伴う濁水により下流の農業用水路に沈殿した水の影響があったとの報告があったが関係機関等と連携して、合理的、安定的な利用の確保をお願いしたい。
- ◆ダム放流による濁水等の事実を確認するとともに、BODも次回わかりやすく説明してほしい。
- ◆ダム建設前後でダムの流況が違うと思うので、ダム建設前後で期間を分けて流況データを整理してほしい。
- ◆河川整備計画（原案）の中で、美利河ダムに関連する課題、問題認識等についての説明がほとんどなかったが、ダムについての考え方を整理してほしい。
- ◆ダムが運用されてから平成3年から5年までは清流日本一になっていないが、ダムとの関連はどのように整理されているのか。
- ◆正常流量のデータには利水の流量も含まれていると思うので、利水分がどの程度なのか教えていただきたい。
- ◆美利河ダムは、多くの方の来訪を期待できるので、もう少しダムサイトに植樹をするなど景観整備を図ると良いと思う。ダムそのものを景観上の重要なポイントに位置付けた方が良いと思う。

- ◆柳と一緒にナナカマドを植えられないか。冬鳥のレンジャクの仲間は、ナナカマドの実を餌としている。
 - ◆小学生等の意識啓発を図るようなものが整備計画の中に盛り込まれているのか。また、今後、小学生向け資料の発刊予定はないのか。
 - ◆イベント等に参加したりするのも大事だが、子供たちが後志利別川で今から学習していくと、将来いろいろな河川管理に関わる大人になるのではないかと思う。
 - ◆今年の春に今金町民を中心に美利河ダムの魚道から5m離れた所に植林を行った。河畔林としての効果が出るまでには50年はかかると思う。すぐには効果が出ないので対岸の方にヤナギの木などを魚道の縁に植えてもらいたい。
 - ◆本流に向けての魚道の早期整備が必要だと思う。
 - ◆美利河ダムの魚道の縁の植林を早期にできるように検討してもらいたい。
 - ◆後志利別川においては水質保全に河川清掃や河畔にブナ類を植えたりする活動を行っている。今後も、町、道、国間で連絡、協力が得られるように要望したい。
 - ◆後志利別川の河畔林はすばらしい状況にあることから、現在の水辺環境に配慮しながら、整備することが重要だと思う。
 - ◆今金地区は内水被害が非常に心配されるところである。今後も対応をお願いしたい。
 - ◆地元では道や国から河川管理に必要となる様々な情報をもらっているが、実際は目視確認しながら対策・対応に取り組んでいる。さらに速やかな連携体制や対応をとれるよう画像情報の提供もお願いしたい。
 - ◆サイクル型維持管理体系を理解し易くなるように工夫をしてほしい。
- このような意見・質問等について原案の文章表現等も含め、今後の審議課題としていくことになりました。

せたな町、今金町で原案の説明と意見聴取会開く



後志利別川水系河川整備計画(原案)については、検討委員会での審議とともに地域の皆さんのお意見を反映することになっています。その説明と意見聴取会が10月17日、せたな町北桧山区・町民ふれあいプラザ、19日は今金町民センターでそれぞれ開催されました。両会場とも約40人の町民が参加し、事務局の今金河川事務所から計画原案の説明がありました。

これについて住民側から意見や要望が出され、ファックスやメールで募集する意見などと合わせて計画へ反映していくこととしています。



編集後記

函館開発建設部から

2年ぶり9回目の「1級河川水質ランキング」全国ベスト1

平成17年度の「1級河川水質ランキング」の発表がありました。1級河川水質ランキングは国土交通省が昭和62年以降水の汚濁を表す指標の一つであるBODの値によって発表しており、この度は全国109水系で行われました。

発表された結果、後志利別川は2年ぶり9回目の全国ベスト1になることができ、ベスト1を9回受賞したのは、全国でも後志利別川のみで受賞回数でも日本一となりました。

今後も、清流日本一を維持していくため、流域の方々と連携し保全に努めていきたいと思います。

今後も後志利別川流域の情報を報告していきますので、よろしく御願いします。